

埼玉 地域交流フットパスプロジェクト ぶらってシリーズ

第一弾 ぶらって幸手



第二弾 ぶらって羽生



第三弾 ぶらって行田



第四弾 ぶらって加須



平成20年度から始まったぶらってシリーズ。それぞれのまちの魅力を多くの方々へ発信するために、学生が現地に足を運び、議論を重ね、学生の目線から見た新たな発見と地域の持つ個性を取り入れたまち歩きマップを作成しました。

そしてぶらってシリーズ第五弾となる今回はこれまでとは違い、ひとつのまちではなく「氷川参道」というひとつのスポットに焦点を当てて作成しました。埼玉県の中心である大宮という都会にありながらも、都会の喧騒を忘れさせてくれるような空間が大宮にはあります。鮮やかな緑の並木道、清らかな空気、ゆったりと流れる時間、そしてなによりも地元の人々のあふれる「想い」がそこにはありました。

「ぶらって大宮 氷川参道」とともに氷川参道へ歩みを伸ばすと、地元の人々の想いがあふれる氷川参道の味わいをよりいっそう感じていただけたと思います。

埼玉 地域交流フットパスプロジェクト

埼玉 地域交流フットパスプロジェクトは、埼玉県の武蔵野銀行と、新座市にキャンパスを置く立教大学観光学部が埼玉県の地域活性化を目的として、平成19年7月に締結した産学連携協定によって発足しました。

本プロジェクトでは、立教大学観光学部の学生が中心となり、武蔵野銀行の支援と地元との協力のもと、埼玉県のJR線、東武鉄道、秩父鉄道の沿線から歴史のある街を選定して、調査をし、多世代にわたる人々が観光交流を通じて充実した生活を送ることができる新しい楽しみ方を創造する事業を行っています。



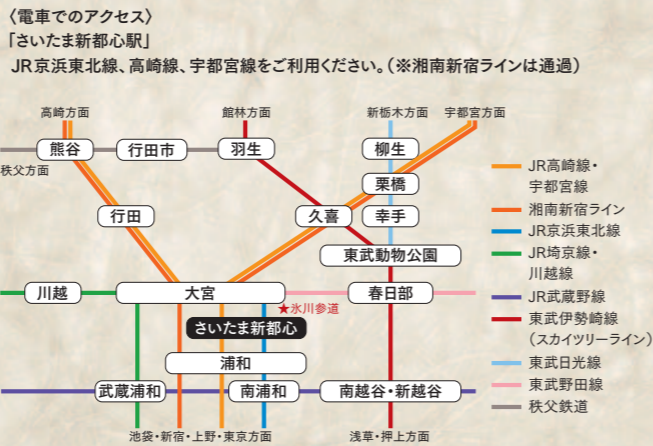
武蔵野銀行



さいたま市PRキャラクター
つなごえ ムウ

第五弾 ぶらって大宮 氷川参道

私たちがつくりました。
学生の氷川参道の調査風景です。



ぶらって大宮

氷川参道

武蔵野銀行 & 立教大学観光学部
まち歩き
MAP
第5弾



想いを紡ぐ十八丁
神社へ続くこの道は、
歴史の深い十八丁
刻まれたその記憶に
想いを巡らす人がいる
初めて知ったその歴史に
想いを乗せる人がいる
マップを手にしたあなたは
何を想い、歩きますか。



武蔵野銀行、立教大学観光学部産学連携事業「埼玉 地域交流フットパスプロジェクト」
まち歩きMAP 想いを紡ぐ十八丁
初版2013年2月

問い合わせ 立教大学リサーチ・イニシアティブセンター(新座)
TEL048-471-6901 FAX048-471-7394
制作:武蔵野銀行・立教大学観光学部 協力:さいたま市・さいたま商工会議所・埼玉県・大宮観光ボランティアガイド会 編集:エイエスエス株式会社 デザイン:望月昭秀+境田真奈美(NILSON) 写真:佐藤憲一 イラスト:あやぼ 印刷:望月印刷株式会社

この印刷物は環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています。



武蔵野銀行、立教大学観光学部
産学連携事業
埼玉 地域交流フットパスプロジェクト



武蔵野銀行

氷川参道

～想いを紡ぐ十八丁～

参道を歩く前に

都会の中に続く約2kmの長い参道は、たくさんの緑に包まれた癒しの空間。時代の移り変わりと共に長い歴史を積み重ね、今の参道の姿がある。かつて人々が参拝のために訪れたこの道に、いま人々は散歩やジョギング、もちろんお参りなど、様々な目的を持って訪れる。姿が変わっても失われない価値と、変わりゆく中で生まれた新しい価値。大宮という都会の中に人々が大切にしてきた自然、語り継いできた歴史、今なお想いが詰まっている氷川参道を歩いてみませんか。

大宮が誇る 日本一の参道!

さいたま市の中心に位置する氷川参道は、旧中山道脇にある一の鳥居から武蔵一宮氷川神社前の三の鳥居まで、まっすぐに伸びる十八丁(約2km)の並木道です。日本一長いこの参道は、大宮のシンボルとして市民に親しまれています。



さいたま新都心合同庁舎から見た氷川参道

一の鳥居までのアクセス

さいたま新都心駅の改札を出て右手に見えるエスカレーターを降り、目の前大通り(旧中山道)を左折し、5分程直進すると、右手に一の鳥居が見えてきます。



①さいたま新都心

「波のシェルター」と名付けられた近代的な屋根が特徴です。



さいたま新都心駅

②大宮カタクラパーク・コクーン新都心

大宮の発展に大きく寄与した片倉製糸工場の跡地は、複合商業施設「カタクラパーク」となっています。隣接するコクーン新都心の名は「まゆ」に由来し、氷川参道の三の鳥居は片倉財閥より寄贈されました。



大宮駅

さいたま新都心駅

④NACK5スタジアム

NACK5スタジアムは、Jリーグチーム・大宮アルディージャの本拠地です。試合のある日には、サポーターの熱い声援が飛び交います。

⑤大宮公園

埼玉県初の県営公園で、明治時代には正岡子規、夏目漱石、樋口一葉など多くの文豪が訪れました。様々なスポーツ施設や動物園があり、桜や紅葉などの四季の変化も楽しめます。

③東光寺

曹洞宗の寺院。大宮出身の漫画家、北沢楽天の墓があります。寺訓は「愛山敬賢」です。「山(寺)を愛する気持ちは、他を敬うことであり、他を敬うことが即ち寺を思うことになる」という意味です。



東光寺本堂

⑥大宮盆栽村

日本を代表する盆栽文化の発信地で、海外からも多くの人が訪れています。盆栽村には、美術館や盆栽園があります。



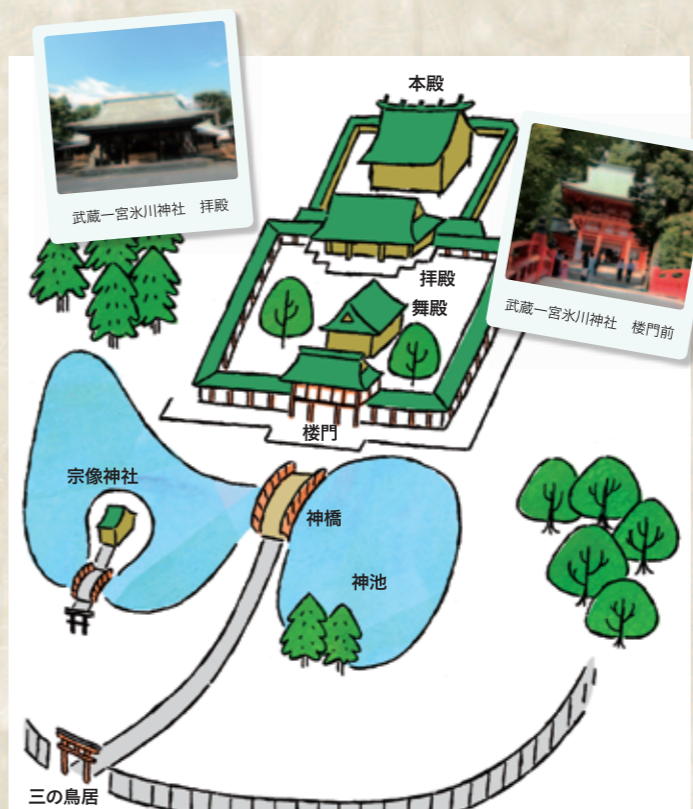
盆栽四季の家

武蔵一宮氷川神社

氷川神社には、スサノオノミコト、イナダヒメノミコト、オオナムチノミコトの三神が祀られていて、古くから人々に水の神様として信仰されてきました。長い歴史を持つ氷川神社は、その規模の大きさから「大いなる宮居」と称され、その周りには多くの人が住み、門前町として栄えていました。現在の大宮という地名は「大いなる宮居」に由来しているとも言われています。

江戸時代、参道は中山道の宿場町として発展しましたが、中山道と参道が重なっていたため、参道を街道とすることは畏れ多いとして、中山道は参道沿いに建てられた宿や家とともに西側へ移転しました。それが現在の大宮の町の基礎になったといわれています。

また、横浜の山下公園に係留されている氷川丸の名は、氷川神社からあやかっており、船内の神棚には氷川神社の祭神が祀られています。歴代の船長、乗組員は氷川神社まで参拝するのが習わしで、昭和17年8月1日には船上で氷川神社の例大祭を祝う祭りが行われました。



武蔵一宮氷川神社 拝殿

武蔵一宮氷川神社 楼門前

三の鳥居

宗像神社

むなかた 宗像神社

宗像神社には、商売繁盛の神様が祀られています。

参道が大好きな住民たち!



かわごおりとしろう 川氷俊郎 78歳

生まれも育ちも大宮。地元の誇りである氷川参道をこよなく愛し、その魅力を多くの人々に知ってもらいたいと願っている。



ふかせりえ 深瀬里絵 31歳

最近氷川参道付近に引っ越してきた、家族思いのお母さん。参道の魅力に惹かれ、息子・武とよく訪れている。



ふかせたけし 深瀬武 5歳

参道近くの幼稚園に通う元気な男の子。お母さんと散歩することが大好きで、山丸公園のSLがお気に入り。



なみきひろこ 並木寛子 56歳

氷川参道沿いに住んでいて、健康のために毎日参道を歩いている。参道でせんべいを買って帰るのが日課。



いしはあやか 石橋綾香 24歳

社会人1年目で大宮の実家に住んでいる。休日には愛犬との散歩を兼ねて、参道でジョギングしている。

主な行事

一月	さいたんさい 歳旦祭	元旦に行われる年始を祝う祭儀。皇室の繁栄と五穀豊穡、国家の発展を祈る。
二月	せつぶんさい 節分祭	2月3日に、弓の弦を鳴らして妖魔を退散させる神事・鳴弦の儀と撒豆が行われる。撒豆には力士衆などの著名人が参加し、大きな賑わいを見せる。
四月	はなしづめさい 鎮花祭	桜の花が咲き誇るのをたたえ、人々の健康と農作物の豊作を祈る祭儀。童女の奉仕による花しづめ舞や、弓道大会などが行われる。
六月	おおほらいしき 大祓式	夏越しの祓とも呼ばれ、神橋の中央にある茅の輪をくぐりながら、輪の中央に吊るされた紙人形に触れて穢れや災難を払う。
八月	れいたいさい 例大祭	天皇陛下の勅使が遣わされる祭儀(勅祭)。東遊の舞が奉納され、荘厳な祭儀が執り行われる。中山道まつりに参加する山車・神輿のお祓いをし、除災招福を祈る。
八月	大宮夏まつり	毎年8月に大宮駅周辺で行われる夏の一大イベント。中でも中山道まつりは、例大祭にあわせて多くの山車・神輿のパレードが行われ、駅周辺から参道沿いを賑わせる。
十一月	じんこうさい 神幸祭	氷川神社で唯一氏子の方がご奉仕する祭儀。地域を守るために、神様が神輿に安置され境内を一周する。
十一月	にいなめさい 新嘗祭	収穫した農産物を神様に供え、五穀豊穡を感謝する祭儀。氷川神社でも正装である衣冠をまとい、神楽を演奏する。
十二月	だいたうさい 大湯祭	氷川神社の行事の中で最も有名な祭儀。11月30日から12月9日の間は、每晚境内にかがり火がたかれこの火にあたると無病息災・防火のご利益がある。
十二月	とうかまち 十日市	毎年12月10日に市が開かれ、「福をかき集める」として縁起の良い熊手や食べ物などの出店が境内や参道いっぱい並ぶ。



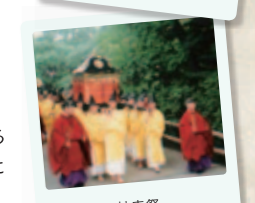
鎮花祭



大祓式



中山道まつり



神幸祭



十日市

※毎月1日には月次祭、15日には献辞祭、国民奉祝の日にはそれぞれ祭事がある。



不安な時代のまち歩き

旅行社のバック旅行でもないのに人々は散歩を愉んでいる。なぜか。まち歩きの古典に詩人萩原朔太郎の「猫町」(1935年)がある。深い不安を抱える主人公にとって迷い込んだ地方の町は幻想の理想都市に見えてしまう。夢の中でそこは猫たちの住む町へと変化していく。妄想から冷め、主人公は現実に戻されていくという話だ。長い経済の低迷、少子高齢化、政治不安など、「不安な時代」と言う意味で、朔太郎の時代と今に共通のものがあはしないだろうか。下町を歩き、楽しそうな喧嘩を楽しみ、さらに庶民の幸せな生活の営みを夢みる時、現実はどうあれ、われわれは「猫町」の主人公のようにその妄想に遊び心の安らぎを覚えるのではないだろうか。

立教大学観光学部 学部長 村上和夫

氷川参道

MAP

歩こうよ、走ろうよ、見つけようよ。
参道にはいろいろな楽しみ方がある。
今日は、何をしよう。

参道の歩き方

鳥居をくぐるときは、まず一礼します。参道の真ん中は「正中」という、神様が通る道なので端に寄って歩きましょう。一鳥居から、二鳥居、三鳥居をくぐり神社へ向かいます。

丁石

丁石は参道を歩く人々が道の距離を知るために置かれていました。一丁は約109mで、氷川参道は十八丁(約2km)あります。昔の十丁石はさいたま市立博物館(p.6)に展示されており、今参道にある丁石は平成元年に復元されました。

願いが叶う料亭

かのうや

明治30年からこの地で川魚の卸問屋を営んでいた「鯉平」の創業者は、納品先の料亭「叶屋」の娘と結婚しました。その後「叶屋」は閉店しましたが、曾孫にあたる現在の社長が2人の想いを紡いでこの地に再び「かのうや」をオープンしました。このお店では、鯉・うなぎ・すっぽんを使った三神料理を食べることができます。「かのうやでおいしい料理を食べて元気になってほしい。」という社長の想いがこめられており、三神料理を頼んだ人には「叶結び」をプレゼントしています。

☎ 大宮区吉敷町 4-101
鯉平ビル 1階
☎ 048-650-0503
☒ 平日 11:00 ~ 15:00 (LO.14:00)
17:00 ~ 23:00 (LO.22:00)
土日祝 11:00 ~ 15:30 (LO.15:30)
17:00 ~ 22:30 (LO.21:30)
☎ 月曜定休



氷川参道の交通整備

もともと参道は交通量の多い二車線の道路で、違法駐車が問題になっていたんだ。そこで平成14年に歩道と車道が分離され、平成21年には一鳥居から中央通りまでの約1kmの区間が一方通行になったんだよ。一連の交通整備によって、歩行者の安全が確保されたんだ。



森田健吾 (観光学部2年)

※このマップ上の丁石の位置は実際のものとは異なります。

アイコン説明



一の鳥居の石標

享保7年(1722)に建てられましたが、時代の移り変わりとともに、彫られた文字と石標の向きが変更されてきました。この石標が、氷川神社の歴史の重みを教えてくれます。



樹木を守るために

氷川参道の並木敷きは、土壌の露出面積が少なく、長い間の踏圧により土壌が固化され、透水、通気不良となっています。そのため、枯死や枝枯など、樹木への損傷が多くみられます。特に、幹が太い木は根が広がっているため、腐ってしまうと抜くことが大変です。そのような樹木を守るために切った木の上に蓋をし、腐敗防止をしています。



大宮消防署 氷川参道出張所

太陽光発電や雨水を再利用している、環境にやさしい消防署です。景観に配慮して、消防署の外壁は参道沿いの花壇の石と同じ石を使っています。



さいたまふじみ野所沢線

大宮の近代はここから始まった

山丸公園

山丸公園は、かつては山丸製糸場でした。明治時代、富国強兵・殖産興業を目指した政府は、生糸を主力輸出品としました。明治18年の大宮駅設置により交通の要衝となった大宮には、片倉組・山丸組・渡辺製糸など多くの製糸工場が進出しました。作られた生糸は、鉄道で貿易港横浜へ運ばれました。現在の山丸公園には、大宮の鉄道網の発達に貢献した白井助七の像や、蒸気機関車も展示されています。



大正6年 大宮山丸製糸(『目で見る大宮の100年』郷土出版社)

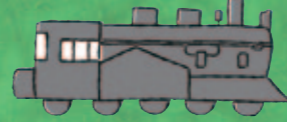
大宮と言えば、鉄道博物館もあるし「鉄道の町」として有名よね。



SLがすごくかっこいいんだ! ぼくのお気に入り!



山丸公園



山丸公園

さいたま市民会館おおみや

演奏会や展示会などのイベントが開催されています。

昔の参道

かつて、大宮市は毎週日曜日に子どもたちのための広場として氷川参道を開放していました。当時、街中の子どもたちにとって車が通らない道は珍しく、安全な場所でした。子どもたちは、かけっこ、風船玉、ローラースケート、ボール遊びなどをして遊んでいました。また、中山道と参道の間には映画館があり、小学生や女工は戦争映画を見に行きました。映画は当時の市民の楽しみでした。



昭和45年 氷川参道で遊ぶ子どもたち(『目で見る大宮の100年』郷土出版社)

CASA CARINO

本格的なバスタが食べられるイタリアンレストランです。



メタセコイア

他の木とは違う、圧倒的な存在感!ぜひ探してみてね!



参道は緑が多くて癒されるのう。子どもから大人まで、たくさんの人が癒しを求めて集まるんじゃない。



一の鳥居

のぼり

左の写真は、例大祭(p.2)の時に立てられるのぼりの竿で、「武蔵国一宮」と書かれた布を通してのぼり立てに立っています。



のぼり立て

のぼりの竿

さいたま新都心駅 p.1

かのうや

足より宮まで十八丁

ベルフィオーレ・カフェ・ビアーレ



釜めし まこと

蓋を閉めずにつくる特許製法の釜めしを、目の前で炊きあげてくれます。

CAFÉ BIS



大きな窓に広がる景色

CAFÉ BIS

参道にあるカフェの中では最も古い、創業26年のお店です。オーナーは参道の四季の風景が大好きで、店内から参道がよく見えるように、お店の窓を大きくしてあります。

☎ 大宮区浅間町 2-1-1
☎ 048-645-6745
☒ 11:00 ~ 21:00
☎ 水曜定休



富士山が見えた塚

せんげんじんじや 浅間神社

浅間神社とは富士信仰に基づいて富士山を神格化した浅間大神を祀る神社のことです。ここは富士山を摸して造られた高さが約5mある富士塚で、富士塚に登ることは富士山に登ったことと同じ意味を持ちました。かつては山頂から氷川参道のケヤキ並木の向こうに富士山を望むことができたそうです。富士山の山開きの日(7月1日)には、1年間に生まれた赤ちゃんの無事な成長と無病息災を願い、参拝した赤ちゃんの額に「浅間神社」の朱印を押してもらう「初山」という行事が行われています。



浅間神社



孫が朱印を押してもらったんじやよ。お参りしたおかげが、元気に育っておるぞ。

参道との深い縁

ベルフィオーレ・カフェ・ビアーレ

氷川神社で七五三の参拝をし、学生時代には参道沿いの飲食店でアルバイトをしていたというオーナー。参道と強い縁のあるオーナーが「美しい花の咲く参道になってほしい」という願いをこめて、イタリア語でベルフィオーレ=美しい花、ビアーレ=参道という意味をもった名をつけたイタリアン・コーヒーカフェです。テラス席では犬を連れての飲食も可能です。

☎ 大宮区浅間町 2-4-1
☎ 048-649-1200
☒ 8:30 ~ 19:30
☎ 第二水曜定休



六丁

味へのこだわり、人々との繋がり

手焼き岩せんべい 小林屋

創業してから60年間、一枚一枚手焼きでせんべいを焼いています。創業当時からずっと変わらない味、けむりが染みついた天井や床、開店当時から使われている量り売りケースは懐かしさを感じさせます。せんべいを買いに来ていた子どもが、大人になって自分の子どもを連れてくるような、地域の人々に親しまれているお店です。一人一人に語りかけてくれる明るい店主が、昔懐かしい雰囲気とこだわりの味を守り続けています。

大宮区高鼻町 1-66
048-642-1133
9:00 ~ 18:00
月曜定休



味は絶対にごまかさない。飾らなくても、良い味さえ出していればそれでいい。一度来てくれたお客様が「また来るよ。」と言って、帰って来てくれるからこそ伝統を守り抜いていけるのよ。店を作った母が90歳まで守ってきたお店だから、継ぐことに重荷があったけど、今はやっと自分らしくできている気がするわ。

無患子

平成ひろばには、無患子という木があります。種子は羽根つきの玉として、外皮は戦時中には石鹼として使われていました。



太宰治ゆかりの地

太宰は、この地で『人間失格』の「第三の手記」後半52枚と「あとがき」を執筆しました。執筆生活のなか、松の湯(今の平成ひろば付近にあった)で風呂を楽しんだ後、参道脇に並ぶ閑市でうなぎの肝串などを買っていました。太宰を見守り支えた大宮の人々の優しさは、『人間失格』に大きく影響したと考えられています。



太宰治『人間失格』自筆草稿(立教大学図書館蔵)

大宮小学校

大宮駅 p.1

大宮中央通り



散策路

オレンジスクウェア

Jリーグチーム大宮アルディージャのオフィシャルクラブショップです。

大宮駅 p.1

さいたま春日部線

手焼きせんべい 小林屋

手焼きせんべい

緑がたくさん並木道だからとても気持ちよく走れるよ!

このおせんべい屋さん昔ながらの味でとってもおいしいの。参道を散歩するときには必ず寄るよ。

一の鳥居からしばらく歩いて、ちょうどここで一休みするんじゃ。

大宮薪能

大宮警察署参道交番の上のタイルは、大宮薪能がモチーフとなっています。薪能とは、神社仏閣など静かで広い敷地があり、かがり火を焚くことのできる場所で行われる能や狂言の舞台公演のこと。大宮薪能は毎年5月下旬に氷川神社境内で行われ、3つの流派の演者が一同に出演する全国でも稀な行事です。武蔵野銀行元頭取熊田克郎氏の提唱により、昭和57年の東北・上越新幹線開業を機に大宮の文化振興、観光行事の定着を願い始まりました。



大宮警察署参道交番の上のタイル

憩いの空間

平成ひろば

参道のちょうど中程に位置する平成ひろばは、市民が集う憩いの空間です。もともと、平成ひろばがある場所は閑市でした。閑市とは、戦後、生活物資が少ない頃に日用品や食糧を売っていた露店や商店街のことです。終戦直後に大宮駅東口にできた閑市が、復興計画の障害になるため参道周辺に移転しました。その後40年にわたって参道の一部が生活の場となっていました。居住環境が悪く、樹木の保存状態は良くありませんでした。そのため、昭和60年から参道周辺の整備が始まり、閑市の跡地は緑地として整備され、散策路などのスポットが造られました。平成元年7月に完成したことから「平成ひろば」と名付けられました。



上:平成ひろば
下:閑市が移転してきた参道(氷川の柱まちづくり推進協議会発行)

たいこ橋

かつて旧岩槻街道(現・大宮中央通り)には並行して堀があり、石で造られたたいこ橋がかかっていましたが、昭和9年に天皇が乗る馬車が通れないため撤去されました。天皇が参道を通して参拝するほどの、氷川神社の格式の高さがうかがえます。



東海林豆腐店

休みの日には武とよく博物館に遊びに行くの。博物館では子ども向けのイベントも行われるのよ!

おばあちゃんの愛情 東海林豆腐店

創業50年以上の歴史をもち、こだわりの大豆を使って豆腐を作っています。「豆腐を作る機械が動かなくなるまで続けていきたい」という店主の想いが込められた豆腐は、地元の人々に愛され続けています。

大宮区高鼻町 1-165
048-641-1217
7:00 ~ 19:00
日曜・祭日定休



石燈籠

ここは以前二の鳥居があった場所で、本来ここからが境内とされています。もともとあった二の鳥居は大宮公園内に移動されましたが、東日本大震災の影響で柱の根元にひびが入り、危険なため取り壊されました。現在、参道にある二の鳥居は明治神宮から譲り受けたものです。



二の鳥居

- さいたま市立大宮図書館
- さいたま市立博物館

昔の暮らしを再現したコーナーや、市内の遺跡で見つかった土器や石器などが展示され、さいたま市の歴史を知ることができます。また昔の十丁石も展示されています。

ケヤキ並木

参道にある樹木の約400本がケヤキの木です。樹木は全部で約700本あり、そのうちの20本が市の天然記念物になっています。古来、参道にはマツが生えていましたが、明治以降はスギに変わりました。しかし、太平洋戦争中にスギは燃料として伐採され、さらに参道を走る車が増加し、その排気ガスによって枯れてしまいました。その後、ケヤキを植え現在の姿になりました。



夏の参道の並木道

誰もが立ち寄る参道名物

氷川だんご

参道の終盤、氷川神社にも程近く、参拝する人々に人気のだんご屋は創業40年の老舗です。店内で焼き上げるだんごはもちろん、あたたかいあげまんじゅうや酒まんじゅうも人気です。食べ歩きも、店内で食べることも出来るこのお店は、様々な想いを馳せて参道を訪れる人々の憩いの空間になっています。

大宮区高鼻町 2-130
048-644-3782
9:00 ~ 18:30
月曜定休



氷川だんご

氷川の杜文化館

日本舞踊や琴などの伝統芸能をたしなむ人が利用しています。入口には、昔この場所が竹林だった面影が残されています。

風致地区

氷川参道は、埼玉県で唯一の「風致地区」に指定されている。風致地区とは、美しい景観を維持するために建物の高さや樹木の伐採などについて決められている地区のことで、環境に配慮したまちづくりが進められているんだよ。



三の鳥居前

参道の多くの樹木が車の排気ガスや、歩行者が根元を踏み固めることによって病気になるんだよ。そうした樹木を守るために、参道の並木敷きにはモミジ、アジサイなどの低木を植え、人が立ち入らないようにしているよ。

十丁

十一丁

十二丁

十三丁

十四丁

十五丁

十六丁

十七丁

十八丁